

2020 年度（令和 2 年度）事業報告

1. 事業の目的（美しい手賀沼の実現に向けての提言と参画）

美しい手賀沼を愛する市民の連合会（美手連）は、関係市民団体、手賀沼水環境保全協議会、千葉県、各市等の自治体と協力・連携を図り、手賀沼浄化及び環境保全を進め広く市民に呼びかけました。

（1）手賀沼水環境保全協議会への参画

構成団体として通常総会（書面開催）、幹事会、担当者会議に参加し、市民の視点から意見を述べました。また、休会が続いていた専門委員会が書面開催され、美手連と美手連構成団体から選出の 4 名が委員に委嘱され手賀沼水環境回復行動計画の進捗等について意見を述べました。

さらに手賀沼統一クリーンデイを主催し、手賀沼流域フォーラム実行委員会の運営を担う等、行政と市民の協力・連携に努めました。

（2）千葉県の「湖沼における外来水生植物対策事業」の検証

手賀沼における外来水生植物の試験駆除と本格駆除について、駆除作業の様子を駆除業者の説明を聞きながら船上より見学し、駆除後の再生状況などを調査・検証し、その結果を県へ報告しました。（詳細は後述の「4. 在来生態系の保全復元活動」参照）

2. 行政との協働事業

（1）手賀沼統一クリーンデイ 12月6日（柏、印西地区）・12月13日（白井地区）

第 18 回手賀沼統一クリーンデイを当初昨年と同様に、柏地区の 3 箇所（大堀川・大津川・手賀沼南岸）と我孫子地区、印西地区、白井地区を合わせた合計 6 箇所を計画しましたが、我孫子地区は新型コロナ感染によるクラスターが直前に発生し、我孫子市と共同開催のため急遽中止となり、合計 5 箇所となりました。

手賀沼水環境保全協議会、千葉県、手賀沼流域各市などの自治体及び他団体の支援・協力により、清掃活動を通してゴミのない綺麗な環境を維持することの素晴らしさと大切さを市民の皆様体験していただきました。

但し、今年度は新型コロナ感染対策のため美手連構成メンバー中心で実施した地区（柏・大津川、柏・南岸地区）や急遽中止した地区（我孫子地区）もあり、全体として参加者、ゴミ収集ともに前年を下回りました。

開催 5 箇所合計参加者 168 名（前年比 63.2%）、開催 5 箇所合計ゴミ収集量 2.25 トン（前年比 94.5%）。地区別では印西地区が参加者で前年を上回り、柏・大堀川地区、白井地区がゴミ収集量で前年を上回りました。

また印西地区でナガエツルノゲイトウの駆除作業を実施、ガラ袋 88 袋、0.74 トンの駆除成果がありました。

地区	担当団体	参加者数	駆除量（ゴミ）
柏地区 （大堀川）	大堀川の水辺をきれいにする会	56 人	1.50t
	トライアスロン等の大勢の若い参加者に胴長を着て手賀沼に入ってもらい、事前の道づくりも功を奏して沼の中のゴミを収集しました。		
柏地区 （大津川）	大津川をきれいにする会	18 人	0.18t
	手賀沼自然ふれあい緑道のヒドリ橋東西見晴台間の法面・緑地・水路、取付農道、大津川のヒドリ橋～二子橋の土手・河原・橋下を 4 班に分け、ゴミを収集しました。		

	ヒドリ橋付近の釣り場の周りに、ポイ捨てゴミが多くありました。		
柏地区 (手賀沼南岸)	美手連	11人	0.20t
	手賀大橋のたもとから2班に分かれ、南岸の車道周辺のゴミを清掃しました。		
我孫子地区	手賀沼ふれあい清掃実行委員会	—	—
	中止 (新型コロナウイルス感染拡大のため)		
印西地区 (亀成川流域)	NPO 法人亀成川を愛する会	53人	0.03t
	亀成川流域の古新田、別所地区のホテルが生息している区域を中心にゴミ拾いと亀成川(古新田橋と和田戸第一橋間)のコウホネの生育を脅かしているナガエツルノゲイトウの駆除作業を行いました。		
白井地区 (金山落)	今井の桜保全プロジェクト	30人	0.34t
	名内橋～今井3号橋を4コースに分かれてゴミ拾いし、作業終了後、恒例の蒸かしたての「ばらっぱまんじゅう」はその場で賞味せず、お土産に持ち帰っていただきました。		

(2) 手賀沼流域フォーラム

2020年度(第24回)手賀沼流域フォーラムの事務局を担い、以下の通り企画し運営しました。

1) 全体企画

■子ども向けワークショップ「葉っぱスタンプで手賀沼流域を彩ろう！」

日時：10月24日(土)9:30～12:00

会場：我孫子市生涯学習センター アビスタ1階 ホール

講師：(株)BiotopGuild 代表取締役 三森典彰氏

参加：一般参加18組親子計35名 (内訳：柏市3組、我孫子市6組、流山市1組、松戸市1組、鎌ヶ谷市4組、白井市2組、川口市1組)

講師2名(白井市まどか幼稚園教諭含む)、発表者1名、スタッフ15名 合計53名
手賀沼公園内で、講師の興味深い説明を熱心に聞きながら葉っぱを集めました。アビスタホールに持ち帰り、葉っぱに絵の具を塗り、まずは手賀沼エコバッグにスタンプを押し、マイバッグの完成。次は模造紙4枚の手賀沼流域白地図に参加者全員で葉っぱのスタンプで生き物を描き、手賀沼流域の範囲や広さを実感してもらうことができました。

引き続き、手賀沼流域フォーラムの活動を知ってもらうために、手賀沼水生生物研究会の半沢裕子さんが毎年柏企画と我孫子企画で実施している「親子で来てね！手賀沼用水路で魚とり」の紹介をしました。また、美手連事務局が手賀沼の水生植物の現状の報告をしました。

併せて、一週間アビスタのストリートでパネル展を開催し、手賀沼流域フォーラムの活動の紹介や手賀沼における外来水生植物の現状と取り組みについて市民の皆さんに見ていただきました。

■湖沼の外来水生植物対策事業における試験駆除視察報告会 (講師:滋賀県琵琶湖環境部中井克樹氏)

8月27日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

2) 地域企画

地域企画は20団体により25企画が立案・準備されましたが、コロナ禍及び天候不順の影響を受け、残念ながら9企画が中止となり16企画が実施されました。参加者総数は1035名となりました。

≪2020年度手賀沼流域フォーラム地域企画実施結果一覧≫

※参加実績(一般参加+スタッフ)

	月/日	企画名	企画団体	募集人数	参加実績
柏	7/11	手賀沼 de セーリング子どもヨット乗船体験	NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ	50名	中止

⑦	8/8	手賀沼 de セーリング子どもヨット乗船体験	NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ	50 名	79+25
	9/6	どろんこ田で、手づくり米の稲刈り体験	名戸ヶ谷ビオトープを育てる会	10 名	中止
	9/27	大堀川わくわくウォーキング	大堀川の水辺をきれいにする会	30 名	17+11 名
	10/4	大津川中流域の自然と歴史を歩く	大津川をきれいにする会	20 名	26+9 名
	10/18	親子で来てね！手賀沼用水路で魚とり 2020	手賀沼水生生物研究会	25 名	32+12 名
	10/18	キノコ観察会	NPO 法人 こんぶくろ池自然の森	25 名	22+18 名
我孫子 ⑩	5/10	緑のカーテンを作ろう！2020	我孫子市消費者の会	100 名	中止
	6/20	冬水田んぼで田植えをしよう	NPO 法人 手賀沼トラスト	30 名	中止
	7/5	親子で来てね！ 用水路で魚とり 2020	手賀沼水生生物研究会	25 名	25+14 名
	7/11 8/22	かかし祭り ①かかし作り ②かかし祭り	NPO 法人 手賀沼トラスト	①8 組 ②30 名	25+106 名 16+129 名
	7/18	わたしたちの使う水はどこから来るの ー考えよう環境にやさしい暮らし方ー	我孫子市石けん利用推進協議会	36 名	12+7 名
	9/21	手賀沼親子ヨット体験乗船会	NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ	50 名	中止
	9/26	冬水田んぼで稲刈りをしよう	NPO 法人 手賀沼トラスト	30 名	80+131 名
	10/4	手賀沼水辺探検	我孫子市環境レンジャー	30 名	33+25 名
	10/10	川めぐりと木下の史跡散歩	我孫子の文化を守る会	8 名	中止
	11/7	谷津の秋・昆虫と植物を観察しよう	岡発戸・都部の谷津を愛する会	25 名	24+5 名
12/5	手賀沼親子ふれあい探鳥会～親子で手賀沼 周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう	我孫子野鳥を守る会	20 名	21+10 名	
流山	10/27	船上から手賀沼の生態を学ぼう！ プラス白樺文学館見学	流山市立博物館友の会	30 名	中止
松戸	8/22	手賀沼をもっと知ろう！ 手賀沼流域の水調べと手賀沼船上見学会	手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会	15 名	12+5 名
鎌ヶ 谷②	9/20	鎌ヶ谷市内(大津川流域)でお米を収穫しよう	鎌ヶ谷・大津川を清流にする会	10 名	12+22 名
	11/14	竹炭・華炭を焼こう	栗野の森の会	30 名	20+16 名
白井	—	金山落の生態系を学ぶ	今井の桜保全プロジェクト	18 名	中止
印西	10/18	手賀沼の船上観察とせっけん工場見学	印西 水と暮らしを守る会	15 名	中止
②	11/1	亀成川流域里山散策会 「ケビンさんと里山生きもの観察」	NPO 法人 亀成川を愛する会	20 名	22+12 名
		全 25 企画 ※16 企画実施 (前年度 30 企画)	前年度 2,061 名		1,035 名

3) 調査事業

美手連に委託されており、詳細は後述の「4. 在来生態系の保全復元活動」に記しました。

(3) 手賀沼流域協働調査

湧水及び河川の水質調査等を春・冬期に実施しました。美手連会員団体が行政と協働で実施したのは柏市(大津川)・印西市(亀成川)・我孫子市(直接流入域・湖北集水路)で、春季は湧水調査3地点、河川水質調査5地点、水生生物調査4地点、冬季は湧水調査1地点、河川水質調査7地点を行ないました。

3. 啓発事業

(1) 次世代に対する環境学習事業

手賀沼流域フォーラムの地域企画の内、16 企画が親子企画として開催されました。手賀沼や流域の生き物や自然に親子で触れ、手賀沼の環境を考える場としても定着しています。

(2) 手賀沼とその流域に関する情報提供

当会のホームページを通じて、美手連の活動や在来生態系保全復元活動の取り組みと課題を

わかりやすくタイムリーにお伝えできるよう工夫をしております。

(3) 研修会・講演会・勉強会の実施

コロナ禍のため、実施を断念しました。

(4) その他

千葉県生物学会の会員研究発表会で、以下のように美手連が2件と構成団体の手賀沼水生生物研究会が1件発表しました。予定していた2月27日が、緊急事態宣言期間中にあたるため、会場での開催は中止となり、学会ウェブサイトへのプレゼンPDF・要旨の掲載、学会誌への要旨掲載という方法で実施となりました。

- ①「手賀沼における侵略的外来水生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの拮抗」
発表者：竹内順子(美手連)、林紀男(千葉中央博)、小倉久子(美手連)、高橋菜(いであ株式会社)
- ②「手賀沼における抽水植物の衰退現象 ～マコモ・ヒメガマ・外来ハスを中心に～」
発表者：小倉久子(美手連)、林紀男(千葉中央博)、八鍬雅子(美手連)、竹内順子(美手連)
- ③「四つ池の池干しに伴うプランクトン相の変化」
発表者：梶 眞壽・鈴木盛智(手賀沼水生生物研究会)・林 紀男(千葉中央博)

4. 在来生態系の保全復元活動

手賀沼流域の豊かな生態系をよみがえらせるために、以下の通り、調査・駆除活動を行いました。

(1) ハス・ヒメガマ船上調査

昨年の岸辺近くの手賀沼群生の衰退が拡大し、今年度はほぼ全域の手賀沼ハスが消失しました。同時にヒメガマ群生も衰退していることが判明し、状況を把握するために5回に渡り、船上より分布調査を実施しました。

- ①日時：6月30日 10:15～12:40 【主に上沼】※ハーベスターによる試験駆除視察の同日に実施
参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 小田上副主幹
いであ株式会社(試験駆除受託業者) 1名、美手連6名
- ②日時：8月5日 9:00～11:20 【主に上沼】※コンバーによる試験駆除視察の同日に実施
参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 小田上副主幹、
ヤンマー関連会社(ハーベスター駆除の担当者) 2名、美手連6名
- ③日時：10月20日 13:30～15:00 【主に上沼】※試験駆除後の状況調査の同日に実施
参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、美手連6名
- ④日時：11月30日 9:35～11:30 【下沼】※水協によるハス現地調査見学の同日に実施
参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、美手連6名
- ⑤日時：12月3日 9:40～11:35 【上沼】
参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、千葉県立中央博物館 林紀男氏、美手連5名

11月30日には、手賀沼水環境保全協議会による「令和2年度手賀沼におけるハスの生育状況悪化に係る原因等調査」を見学。美手連も船上からレイキを使って底泥を掬い取るとハスの枯死体ばかりで地下茎は確認できませんでした。原因究明が急がれます。市民に愛され観光資源となっていたハスですが、ハスを完全駆除し再生阻止するか、あるいはある程度の再生を認めるか。ハスのほとんどが消失している今、今後美手連として、ハスの在り方について考える必要があります。

ヒメガマの衰退は、多数の大規模群生を形成している下沼で顕著でした。これ以前にマコモ群生もほぼ衰退しているのを確認しています。これらの抽水植物に発生している現象は同一の原因によるものなのか。原因を特定できていません。

(2) ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ (以下、ナガエ・オオバナ)

1) 千葉県「湖沼における外来水生植物対策事業」の検証

2020 年度から始まった千葉県の手賀沼における外来水生植物の試験駆除と本格駆除について、駆除作業の様子を駆除業者の説明を聞きながら船上より見学し、駆除後の状況とその後の再生状況などを調査・検証し、その結果を県へ報告しました。

■試験駆除の船上視察・調査

①ハーベスター水草刈り取り船による試験駆除視察

日時：6月30日10:15～12:40 場所：手賀沼 大堀川河口部根戸新田地先
参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 小田上副主幹、いであ株式会社（試験駆除受託業者）1名、美手連6名
船（みずすまし号）の運航：NPO 法人アルバトロスヨットクラブ2名

②コンバー水草刈り取り船による試験駆除視察・ハーベスター駆除後の調査

日時：2020年8月5日9:00～11:20 場所：手賀沼 大堀川河口部根戸新田地先
参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 大島班長・小田上副主幹、ヤンマー関連会社（ハーベスター駆除の担当者）2名、宇部工業株式会社（コンバー説明員）1名、いであ株式会社（試験駆除受託業者）2名、美手連9名
船（みずすまし号、小型船舶2隻）運航：NPO 法人アルバトロスヨットクラブ3名、宇部工業株式会社

③試験駆除後の再生状況の確認調査

日時：10月20日13:30～15:00
参加者：滋賀県琵琶湖環境部 中井克樹氏、美手連6名
船（みずすまし号）の運航：NPO 法人アルバトロスヨットクラブ1名
結果：両駆除エリアとも漂着したナガエ・オオバナの断片が定着し、繁茂が始まっていた。

■本格駆除の船上視察・調査

①ハイドロモグ水草刈り取り船による本格駆除の視察

日時：2021年1月28日10:15～12:40 場所：手賀沼 大堀川河口部（試験駆除区域含む）
参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、千葉県水質保全課 小田上副主幹、美手連6名
船（我孫子手賀沼漁協小型船舶）の運航：NPO 法人アルバトロスヨットクラブ1名
ノダック株式会社（本格駆除受託業者）佐竹氏が作業船に同乗し、参加者と質疑応答。
結果：試験駆除のときは、少ない運搬船がネックになって、刈り取り船が休んでいる様子が多々あったが、今回のハイドロモグは刈り取っては途切れなく、増やした運搬船に積み込んでいて無駄な時間がなかった。

②本格駆除完了直後の状況調査

日時：2021年2月20日10:00～11:30
参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、美手連7名
船（みずすまし号）の運航：NPO 法人アルバトロスヨットクラブ3名
結果：概ね機械駆除でやるべきことは達成できていたが、すでに外来水生植物の断片が多数漂着していた。本格駆除完了エリアで3箇所を経過観察地点に定め継続調査し、定期的に写真撮影し記録に残すことにした。

2) ナガエ・オオバナ分布調査

ハス・ヒメガマ調査と同日分布調査実施。船上から調査する際、遠目に黄色っぽく見える群落が目立ってきて、最初の調査6月30日の際、群落の先端部のナガエの葉が黄変してい

るのを確認。8月5日には、黄緑色のナガエと濃い緑色のオオバナの群落がブチ模様に拮抗している様子を確認。ナガエの黄変については、これまで手賀沼や印旛沼流域では初夏から夏にかけて確認され、秋になると自然に解消しています。

ところが、10月20日には、オオバナの葉が黄変しているのを確認。ほとんど岸際の黄緑色はオオバナの群落に代わっていて、12月3日も依然として顕著。琵琶湖では見たことがないとのこと。原因は不明。

3) ナガエ・オオバナの拮抗、植生状況調査

日時：9月17日9：30～11：30

参加者：千葉県立中央博物館 林紀男氏、柏市環境政策課2名、いであ株式会社2名
美手連7名

調査場所：大堀川下流部 北柏ふるさと公園地先

結果：ナガエ群落にオオバナが覆いかぶさるように群落を展開し、表層はオオバナ優勢とみられる場でも、底層ではナガエが匍匐枝を充実させている地点が多いことが確認できました。

4) 定点観察

手賀沼とその流域に生育する特定外来生物のうちナガエとオオバナについて、生育域の拡大、一部離岸、漂流、漂着、発芽、繁茂の状態を定点（同じ場所）から写真撮影し、時系列に記録し、ホームページに掲載しています。それらの画像を比較し、遷移を観察します。おおむね、月に1回程度実施しています。

(3) オオカワヂシャ調査・駆除

1) 事前調査

①1月25日（月）大津川逆井方面水路、上大津川 参加者：フォーラム事務局1名

②2月8日（月）上大津川（松戸クリーンセンターから下流へ）、逆井方面水路と周辺用水路
参加者：大津川をきれいにする会3名、フォーラム事務局1名

③2月9日（火）上大津川、逆井方面水路と大津川との合流地点、その上流
参加者：大津川をきれいにする会3名

2) 駆除事業

事前調査の結果、緊急性の高い以下の2か所を駆除することにしました。

■上大津川高南台方面水路

①3月14日（日）9:00～11:30 参加者：大津川をきれいにする会10名

作業：オオカワヂシャを手で抜き取り、水で泥を落とし土嚢袋に入れ、リヤカーで集積場へ運搬。前日の豪雨で水かさが増してオオカワヂシャは殆ど水没し、水が濁って見えにくかったです。またバイパス道路の橋懸け工事中で土嚢による堰があり、その上流が腰より深かったため、そこは駆除できませんでした。

駆除量：土嚢袋 25袋

②3月31日（水）9:00～13:00 参加者：大津川をきれいにする会5名

作業：晴天続きで水嵩少ない日を選んで、1回目の残りをすべて駆除しました。

駆除量：土嚢袋 60袋。

■逆井方面水路と隣接する湿地

日時：3月14日（日）9:00～11:30

参加：外来水生植物調査駆除登録ボランティア3名、美手連3名、フォーラム実行委員6名

作業：水路は、盛り土にたくさんの芽生えがあったが、例年より少なめでした。湿地は、かつて田んぼだったため、ぬかるみと悪戦苦闘し、生育面積が広く全てを駆除することはできませんでした。

駆除量：土嚢袋 81

(4) 手賀沼魚類・貝類調査

9月20日に手賀沼水生生物研究会が定例のモンドリによる定量調査とガサガサによる定性調査を実施し、以下の通り報告がありました。

1) 魚類

- ・上流域の根戸新田地先ではナガエ・オオバナが拡大し生き物にとって隠れ家になっているのか生き物の数、種類共に今までで一番多く生育していました。
- ・下流域では岩井新田でヨシ、ヒメガマの減少が見られました。関連は未確定ですが、魚類は例年より育ちが遅く個体も小さく、曙橋附近では小型魚類が減少しました。

2) 貝類

- ・生体確認数は大橋上流部では例年並みに密度薄く、見晴台ではやや減少、曙橋附近では例年通り、岩井新田では全く確認できませんでした。

6. その他

(1) Enjoy 手賀沼！2020

5月10日 開催中止（新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため）
毎年、美手連は後援団体として物品の貸出などで協力しています。

(2) 手賀沼エコマラソン

10月25日 開催中止（新型コロナウイルス感染拡大のため）
毎年、美手連はテントのブースでパネル展示などを実施し活動紹介をしています。

《2020年度 美手連活動記録》

月 日		会議等	行政・他団体との協働事業他
4月	13日		手賀沼流域フォーラム第1回実行委員会（書面開催）
5月	10日		Enjoy 手賀沼！中止（美手連：後援団体）
	15日		手賀沼水環境保全協議会総会（書面開催）出席
6月	9日		協働調査【河川水質、水生生物】我孫子地区直接流入域
	19日	総会（書面開催）	
	19日	理事会・運営委員会	
	17日		協働調査【湧水、河川水質、水生生物】柏地区大津川
	23日		協働調査【湧水、河川水質、水生生物】印西地区亀成川
	25日		手賀沼流域フォーラム第2回実行委員会開催
	30日		「湖沼における外来水生植物対策事業」 水草刈取り船ハーベスター試験駆除の船上視察・意見交換
7月	14日	理事会・運営委員会	
	21日		手賀沼流域フォーラム第3回実行委員会開催
8月	5日		「湖沼における外来水生植物対策事業」 水草刈取り船コンバー試験駆除の船上視察・意見交換

	14日	運営委員会	
	27日		手賀沼流域フォーラム全体企画「湖沼の外来水生植物対策事業における試験駆除視察報告会」中止（中井克樹さん講師予定）
9月	16日	運営委員会	
	17日		大堀川下流部 ナガエ・オオバナの拮抗・植生状況調査
	20日		手賀沼魚類・貝類調査（手賀沼水生生物研究会）
10月	1日		手賀沼ふれあい清掃実行委員会出席
	7日		手賀沼流域フォーラム第4回実行委員会開催
	9日		手賀沼水環境保全協議会第1回担当者会議出席
	20日	理事会・運営委員会	
	20日		手賀沼船上調査（試験駆除後の状況調査）
	24日		手賀沼流域フォーラム全体企画 子ども向けワークショップ開催
	25日		手賀沼エコマラソン中止（パネル展示等予定）
11月	4日		東大都市デザイン研究室 永野真義先生との顔合わせ会開催
	16日	運営委員会	
	18日		手賀沼流域フォーラム第5回実行委員会開催
	20日		いであ(株)による試験駆除事業報告会と大津川事前踏査参加
	30日		手賀沼船上調査と手賀沼水質環境保全協議会ハス調査見学
12月	1日		協働調査【河川水質】我孫子地区直接流入域
	3日		手賀沼船上調査（上沼・ヒメガマなど分布調査）
	6日		手賀沼統一クリーンデー 柏・我孫子・印西地区開催
	13日		手賀沼統一クリーンデー 白井地区開催
	15日	運営委員会	地域環境保全基金について千葉県水質保全課からのヒアリング
	16日		協働調査【湧水・河川水質】柏地区大津川
	16日		協働調査【湧水・河川水質】印西地区亀成川
1月	20日		手賀沼流域フォーラム第6回実行委員会開催
	21日	理事会・運営委員会	
	25日		オオカワヂシャ調査（第1回）（フォーラム事務局）
	28日		ノダック(株)による本格駆除の船上視察・意見交換
2月	7・8日		オオカワヂシャ調査（第2・3回）（大津川をきれいにする会他）
	18日		手賀沼流域フォーラム第7回実行委員会開催
	20日		手賀沼船上調査（本格駆除直後の状況調査）
	26日	運営委員会	
	27日		千葉県生物学会の会員研究発表会（学会 Web に掲載）
3月	2日		地域環境保全基金について千葉県水質保全課から関係団体へのヒアリング
	14日		オオカワヂシャ駆除作業（上大津川高南台・逆井方面水路など）
	17日		手賀沼水環境保全協議会第2回担当者会議出席
	26日		手賀沼水環境保全協議会専門委員会（書面開催）出席
	30日	運営委員会	
	31日		オオカワヂシャ駆除作業（上大津川高南台方面水路 追加）